釧路市立北中学校「学校だより」

北　魂

令和７年（2025年）10月14日発行　VOL 28

進路選択

釧路市立北中学校長　冨　田　直　樹

10日（金）の総合的な学習の時間において、取材活動が行われました。各事業所等ごとに41チームが編制され、生徒たちは、これまでのワークショップ等で開発した質問事項に基づいて、様々な立場の人たちにインタビューを試みました。日々実直に自分の仕事に向き合う市井の人たちが、どんな思いで釧路市で働いているのか、それを探究して記事を作成し、最終的には図鑑を編纂するというプロジェクトです。初めて出会う市井の人の魅力を引き出すインタビューは困難を極めたと思いますが、用意した質問事項の他に、インタビューを通して気付いた内容を質問したり、一つの回答を深掘りしたりするなど奮闘した様子も見られました。最後は市井の人たちの協力もあり、無事に取材活動を終えたようです。今後は記事の作成、そして、11月29日（土）の「北中EXPO」（成果発表会）に向けて取組が更に加速していきます。難しいプロジェクトですが、市井の人たちの人生ドラマをまとめ上げた「釧路市仕事人図鑑」の完成に向け、最後までチームのメンバーで協力し合いやり切ってほしいと思います。

さて、10月に入って高等学校等入学者選抜に向けての動きが活発化しています。先週は北海道教育文化協会が発行する学力テスト総合Ｂが実施されました。釧路北陽高等学校や釧路工業高等学校などの体験入学も実施されました。21日（火）には道教委が学校向けの道立学校等入学者選抜に係る手引の説明会を実施する予定です。３学年の学級通信には、12月に行われる三者面談に関する記述も見られるようになりました。３学年の生徒にとって何かとプレッシャーのかかる時期となりましたが、一人一人が自分の希望する進路の実現に向けて努力を重ねてほしいと思います。

高等学校等入学者選抜については、様々な改革が進んでいます。昨年度か始まった入学願書のweb申請、私立学校の授業料実質無償化など、これからも改革は進むと思いますが、生徒たちが主体的に進路の選択ができることを大切にした改革であってほしいと思います。そんな中、高等学校ではないですが、東京電機大学がとてもユニークな入学者選抜を導入することになりました。それは「総合型選抜（とんがりＡＯ）」です。その出願資格として「５分類・20項目」の「とんがり要件」を設定しています。例えば、「何かを作ることに夢中になって寝食を忘れる経験があり、それらに関する成果物がある」、「音を聞いただけで機械の診断、または機種や製品が特定できる能力をもっており、それについて科学的・工学的観点で語ることができる」、「数学、物理、化学、生物いずれかに対する『愛』が極めて大きいことを日常の活動や実績を伴って語ることができる」です。

入試については、自分の点数がこれぐらいだからではなく、入学しようとする高等学校等で自分の力を伸ばせるかどうかが大切です。中学校卒業後（義務教育終了後）、生徒たちが自分の「好き」や「得意」を伸ばせる、そんな進路選択をしてほしいと思います。